

表彰

全国市議会議長会・
県市議会議長会から
表彰されました。

全国市議会議長会 表彰

林 悦子 上野 征一
増田 昇 橋本位知朗

全国市議会議長会 (地方行政委員会)

林 悦子

茨城県市議会議長会 表彰

林 悦子 上野 征一
増田 昇 橋本位知朗
飯島 重男

傍聴に お越し ください

市議会では、市民の皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されています。

市政を身近に知るためにも、ぜひ議会を傍聴してみませんか。
本会議の開催日など、詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

議場は岩瀬第2庁舎にあります

議場は、岩瀬第2庁舎（北側建物）の3階にあります。駐車場は、第1庁舎及び第2庁舎北側にもありますので、ご利用ください。



傍聴手続は簡単です

手続は簡単です。本会議を傍聴するときは岩瀬第2庁舎3階にある傍聴席入口で、氏名、住所、年齢を受付簿に記入し、傍聴券をお取りいただいて、入場してください。

傍聴席は先着順で50席

傍聴席は50席です。先着順となっていますことをご了承ください。

団体で傍聴を希望するときは、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。

お問い合わせ：桜川市役所 岩瀬庁舎

議会事務局 TEL 0296-75-3111
(内線 2510)

総

務常任委員会

委員長 増田俊夫 副委員長 市村 香
委員 林 悦子・橋本位知朗・相田一良・増田 豊・岩見正純・榎戸和也

市立病院の「地方独立行政法人への移行・運用」について

視察日：平成26年5月26日(月)～28日(水)
出席委員6名 欠席委員1名
視察先：熊本県山鹿市、福岡県八女市・筑後市

筑後市において、市立病院の「地方独立行政法人への移行・運用」について視察研修を行いました。筑後市立病院は、地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくために、平成16年度より続いていた病院事業会計の赤字を受けて、平成19年に市立病院のあり方や経営形態について専門組織をつくり検討を始めました。

平成20年11月に、学識経験者や専門家、公募市民で構成された筑後市立病院経営形態検討委員会を設置し、約5ヵ月間、議論を重ねました。経営形態

は「非公務員型の地方独立行政法人」であるとの答申が市に提出され、平成23年4月1日、筑後市が100%出資する「地方独立行政法人・筑後市立病院」に移行しました。法人化後は、業務運営に関する中期目標を定め、効率的な運営を計画的に行いながら、医療水準の向上・市民の健康の維持及び増進に寄与するための運営に努力していたため、収益などの改善がみられ、黒字に転換しています。また、効率的な経営を行ってもなお不採算となる部門の経費は、市から経費負担を受けており、運営負担金繰り入れ後の経常黒字が達成できるように増収及び費用削減に取り組んでいました。

また、熊本県山鹿市では「生ごみ減量化事業」、福岡県八女市では「重要伝統的建造物群保存地区における『空き家の保存・再生と活用』」の視察研修を行いました。



筑後市立病院

建

設経済 常任委員会

委員長 中川泰幸 副委員長 鈴木裕一
委員 上野征一・増田 昇・川那子秀雄・皆川光吉・仁平 実

農産物の被害と復興事業「菌床椎茸栽培施設」について

視察日：平成26年6月2日(月)～4日(水)
出席委員7名
視察先：岩手県岩泉町・大船渡市、宮城県松島町

大船渡市において、「農産物の被害と復興事業」について視察研修を行いました。

大船渡市の農業は中山間地域で、耕作面積が狭く散在している土地条件であることから、農業従事者の減少や農業者の高齢化により労働力の低下や遊休農地の拡大など、課題を抱えています。

震災前の平成22年度の農産物出荷額は5億1,700万円。このうち、3億1,000万円を占めていた菌床椎茸は、地震と津波被害で菌床ほだ玉が壊滅的被害を受け、平成23年度出荷額は1億4,500万円と減少しました。生産基盤を失った生産者の生業を確保するためにも、菌床椎茸栽培用ハウスの建設が必要でした。平

成24年6月に農山漁村活性化プロジェクト支援復興対策事業を活用し、平成25年4月、総事業費2億2,000万円、復興事業補助金1億2,000万円で菌床椎茸栽培ハウス及び処理加工・出荷施設が完成しました。

現在では、栽培管理や出荷作業の省力化を図るとともに、新規栽培者の定着化を進めております。当委員会では、研修で得られた知識や情報を生かして対応するとともに、今後の議会活動に反映させていきたいと思っております。

また、岩手県岩泉町では「観光振興」、大船渡市津波伝承館では「大震災後の津波被害状況」、宮城県松島町では「トマト生産販売と震災復興」の視察研修を行いました。



大船渡市菌床椎茸栽培施設